

令和5年度 第5回河原地域振興会議議事概要

日 時 令和5年10月31日（火）13時30分～15時30分

場 所 河原地区公民館

〔出席委員〕

竹田賢一、林 昭男、奥谷仁美、下田和実、西谷美智子、山下教幸、渡邊幸勇、浅田義昌、田村稔（順不同）

〔欠席委員〕

楮原典子、坂本綾子、中村佳紀

〔説明者〕

美田河原地区公民館長

〔事務局〕

九鬼支所長、武田副支所長兼地域振興課長併教委分室長、岡本産業建設課長、浜部市民福祉課長、吉田地域振興課課長補佐

〔傍聴者〕

なし

会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - 1) 河原地区の状況、活動について
 - 2) 地域振興会議のあり方について
 - 3) R4年度過疎計画の事業評価について
- 4 その他
- 5 閉 会

議事概要

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - 1) 河原地区の状況、活動について
説明者：美田河原地区公民館長
 - 【委 員】 そろそろ河原地区公は建て替えの時期だと思うが、次はどういうところを選ばれるのか。
 - 【説明者】 河原地区公民館は大雨の時は避難所としては適さないです。ただし地震の時は有効だと考えています。なかなか河原地区に避難所の適地はないです。
 - 【委 員】 極力水害のないところがよいだろう。土地の嵩上げをするわけにもいかないとなると高い建物を作るかどうか。
 - 【説明者】 地区公民館は極力平屋でかつ市有地が原則という指針が出ています。バリアフリー化する必要があるので2階以上だとエレベーターもいるため建設費用が高

額になります。

河原地区では、他に長瀬や谷一木などは高いところにありますが、土砂災害の恐れが出てくるため、現在の地点以外に適地はないです。

また、千代川と八東川が合流する地点になりますから、どちらにしてもすごい大雨が降れば、河原町内の半分ぐらいはすぐ水没する可能性があるということは認識しておいた方がいいと思います。一方、国英地区は、高台にあり駐車場も多いので避難所としては適していると思います。

【委員】 河原地区の自治会の加入率についてだが、袋河原などの新しい団地の方は、ほとんどの方が町内会に加入していただいたのだが、若干の世帯の方が、今の状況ではメリットもないし、入りたくないというようなこと言われている。ただしゴミ出しについては、当番をしていただければ出してもよいという風に融通を利かせている。支所からの月例広報誌等の配布物が配れない問題がある。支所管内での実態はどうか。

【説明者】 河原地区の自治会の加入率はおおよそ7割です。他の地区はもっと数字が高いはずですが。集合住宅が多くあります。自治会加入を前提としない分譲住宅がありましたが、自治会加入を前提として開発された団地もあるので最初からそのようにして進めるべきです。自治会加入に関して、メリット・デメリットを含め、丁寧に説明をしていくしかないと思います。ただ、集合住宅の方に対して説得するのは困難と思います。できれば加入率を高めていきたいのはやまやまですが。

【事務局】 支所からの配布物を受け取れることがメリットになっていないケースが散見されます。必要な時に自分で取りに行けばよいという考え方です。強制力はないので、地域の活動やつきあいなどを丁寧に説明していくしかないです。

【委員】 長い時間かけてやっていくしかない。

【事務局】 参考ですが、R4年5月時点で全市の自治会加入率は、62.4%、河原町全体では約80%となっています。

【事務局】 防災に力を入れておられますが、独自の活動として黄色いハンカチを使った取り組みについて教えていただけないでしょうか。

【説明者】 静岡県の取り組みを参考としました。まちづくりの予算を使ってハンカチを全戸配布しました。避難した場合に掲げてもらうようにしています。また、無事な場合も玄関先など通路に面したところに掲げてもらうようにしています。その家にはあらためて確認しないようにしています。部落単位では、7～9割の掲揚率です。

2) 地域振興会議のあり方について

説明者：武田副支所長兼地域振興課長併教委分室長

【委員】 回数の上限は決めないでほしい。

【事務局】 要綱で何回以内という風に定められますが、要綱による設置のため、柔軟な変更が可能です。他県においても、条例設置後の一定期間は何らかの会議体を要綱設置としている自治体が多いようです。

【委員】 人数も12名という風に決めなくてもよいのではないかと。

【事務局】 きっちりと決めるより、内容に応じてオブザーバーの参加を認めるなどしてほ

しいという考えもあります。

- 【委員】 オブザーバーにも報酬が出るようにしてほしい。
- 【事務局】 意見は承りました。
- 【委員】 支所の庶務の役割についてだが、支所は全体が見えている。政策提案や地域プランの作成について支所の応援がないとできない。
- 【事務局】 まちづくりを考える新たなプランを作るという方向で話が進んでいます。
- 【委員】 地域プランと過疎計画の違いはどうか。
- 【事務局】 過疎計画は全体の計画で本庁が中心ですが、一方で地域プランはもう少し細かいです。河原地域、各地域でこんなことをやっていきたいという事業の中で優先順位をつけて、進捗管理をしながらやっていくというイメージです。全体計画でも良いですし、地区ごとの細かい計画を作って進捗管理をしても良いです。支所地域の地域振興にかかわる部分で予算を獲得していくという考え方になります。
- 【委員】 地域の思いを支所が受け取ってほしい。
- 【事務局】 福部と青谷がすでに地域振興プランを作っています。
- 【委員】 8月の豪雨によって部落の中の小さい水路に土砂が入り込んでいる。どうしていくのか。
- 【事務局】 被害報告を各集落で取りまとめて出させていただいていますので、これから順番に対処していきます。
- 【委員】 田植えに間に合うのか。
- 【事務局】 間に合わないものがほとんどになりそうです。河川の護岸の整備が終わらないと用水路に水がたどり着かないので、耕作までに工事が間に合わない地区が複数出てくると思われます。
- 【委員】 この会で要望活動を行ってもよいのではないか。
- 【委員】 まずは、この河原町をどんなまちにしたいのかという大きなビジョンを作ってはどうか。例えば、町内の子どもの教育環境をどうしたらよいかといったような大きなビジョンを作れば、子どもが関わるすべての地域活動や公民館活動、子ども食堂などに波及していく。こんな環境で子どもを育てたいという、子どもにやさしいまちづくりを掲げれば、子ども中心の優しい町になるのではないか。そこから地域コミュニティや防災にもつなげられると思う。
- 【事務局】 計画を作るうえではビジョンは大事です。その下に細かい事業を位置づけていけばよいです。来年度もしくは再来年度中にはプランを作ることになると思います。
- 【委員】 何年間という期間はないのか。
- 【事務局】 それはないですが、毎年修正をかけていくという流れになります。地域ごとのプランの「地域」とは、河原町全域となります。
- 【委員】 3～5本、事業の柱を立てればどうか。
- 【事務局】 そんな感じでもよいと思います。いろんな意見を出し合う会議体を作りたいという意見が他の支所でも多かったように思います。
- 【委員】 計画を作るのは大変。支所に委員の要望の文書化をお願いしたいところ。
- 【事務局】 それは可能ですが、柱を掲げていただきたいです。まちづくりの土台を考えるう

えで計画があったほうが良いという話が出ましたが、計画づくりが義務化されているわけではないです。

【委員】 大きなプランを考えていくことがまずは肝要だ。子供を中心に考えていきたい。

【事務局】 素案の1, 2, 3について、考え方の方向性はどうでしょうか。

【委員】 特に問題ない。

【委員】 防災も非常に大事と思う。河原町には大きな千代川や八東川がある。

3) R4年度過疎計画の事業評価について

説明者：武田副支所長兼地域振興課長併教委分室長,岡本産業建設課長,浜部市民福祉課長

【委員】 複式学級制度は1年生も対象なのか。昔の1年生は、必ず1学級だったと思うが。

【事務局】 1年生は複式学級となっていません。

【委員】 お城山の正面の道は通行止めになってからだいぶ経っているようだが。

【事務局】 3年くらいは経過しています。想定外に軟弱な地形なのが主因です。

4 その他

【事務局】 次は12月1日予定で八上地区公民館となっています。

また、次年度の地域振興会議の視察の予算要求時期のため、どこか視察場所の希望があればお聞きしたいと思います。

【事務局】 希望があれば来週半ばくらいまでにご連絡ください。

5 閉 会